

報 告 書

開催日時	平成30年11月18日(日) 15時 ～ 16時38分
開催場所	依知北公民館 集会室1・2
担当議員	田上祥子、瀧口慎太郎、山本智子、栗山香代子、山崎由枝、 新川勉、松田則康
参加人数	26人
報告事項	平成29年度決算の審査概要
意見交換 (テーマ)	・防災対策について ・地域包括ケア社会について
参加者 からの 質問・ 意見等	別紙のとおり
意見書等 の検討が 必要な 意見等	特になし

平成30年11月19日

平成30年度 第13回議会報告会
市民福祉常任委員長 田上祥子

第 13 回議会報告会報告書（別紙）

平成 30 年 11 月 18 日（日）

市民福祉常任委員会

1 参加者からの質問・意見等

（1）決算報告

- ・厚木市は市県民税が高い。歳入が多く不交付団体とのことだが、市民税が高いせいではないのか。

⇒税理は同じ。厚木市は収入の高い人が多いため。

（2）防災対策について

- ・ダムが 3 つのトンネルでつながっているとの説明だったが、それぞれのダムに落差がある。低い方からだと圧縮ポンプで送水するのか。

⇒トンネルは枯渇対応。結果、災害時にもリスクが減った。水位は同じレベル。

- ・愛甲在住。今年 10 月に洪水ハザードマップが配布された。避難所が愛甲小学校・東名中学校になっているが、田んぼの中で液状化が起こり得るので、実際には避難先とならない。30 年前に指摘したが変わっていない。

⇒まず船子老人憩の家。他にも各地区で高い所に避難となる。

- ・市民が理解できるように周知を。ほとんどの市民が知らない。

⇒地震と風水害は避難場所が違う。周知が必要だ。

- ・山際へ広域避難所を。市長は北部地区公園と答弁。状況は。

⇒山際地区の土地区画整理事業の一角である山際病院跡地が候補地となっている。現地は広くないため、皆さんの合意を得て、市が土地を買い足して、備蓄倉庫もある防災公園を造りたいとのことだ。

- ・4 年前も同じ。一刻も早く実現できるように。

- ・防災備蓄倉庫の備品。期限切れの処分方法は。ヘルメットが F R P で劣化したり、寿命があるものもある。

⇒防災訓練時、消費期限前に無料配布している。ヘルメットの劣化は考えていないのでは。交換はしていない。（※実際には交換している）

- ・交換の目安を表示してある。調べてみて。

⇒議会として交換についても研究する。

- ・井戸を掘るべきとの一般質問に市は明確な回答をしていない。学校のプールは飲料水になると聞いているが。

⇒厚木市は防災井戸の指定をしているが飲料用ではない。定期的に検査をしているが、維持管理に費用がかかる。プールの水は浄化装置を使って飲料水にできる。

(3) 地域包括ケア社会について

- ・地域包括支援センターに相談できる人は幸せだ。91歳の夫が81歳の妻を殺害した事件があった。隣近所の付き合いがなかったようだ。セーフコミュニティでも地域の絆を強く言うが、どこに、誰に相談したら良いのか分からない人がある。

⇒老老介護で一般質問した。全国では亡くなっても届けず130歳になっている人がある。厚木市でも1度も病院を受診していない人を探すと出てきた。

(4) その他

- ・地域包括、かなり良くなっている。1年前に地域包括支援センターの方の説明を聞いた時、もっとみんなにPRしてもらえないだろうかと言うと「そんなことをしたら、介護施設は成り立たない」と言われた。センターは公民館でオープンにすべきだ。

⇒センターは10カ所になった。当初は行きにくい所が多かったが、法人から出てやっている。横浜は公民館でやっている。将来的には望ましいことと考える。一朝一夕にはできないが、使い良いセンターの在り方を提案していきたい。

- ・民生委員を4年やっている。子どもの登下校の見守りをしているが、道路の白線や表示が消えている。自治会長にも言っているが、一向に進んでいない。上依知小学校の先生も心配して話すが効き目がない。市はどうしているのか。毎日のことである。ぜひ早くしてほしい。

⇒以前、別な場所でやった。早速やります。すぐ書くようにします。

- ・北朝鮮の拉致問題解決を求め、毎月、駅北口で宣伝活動をしている。
- ・「拉致を考える市民の会」の代表。都内で活動していた。厚木で3年になる。昨年12月に議会に陳情を出し、国に陳情書を挙げてもらった。ありがとうございます。国会でも議論にならない。厚木では平成10年8月4日に渋谷浩邦さんが拉致された。建寧の拉致被害者は18人の内の一人。清川にもいる。国民が73年、あまりにも平和ボケすぎる。議会でも議論して、救出のために動いていただきたい。